

公明党仙台市議団が体制を刷新。 新たな決意で皆様の声を市政に届けます。



新しい顔ぶれで初となる第三回定例会が9月12日にスタートし10月13日に終了致しました。副議長に公明党仙台市議団の鈴木広康氏が選出され、公明党仙台市議団も体制を刷新しました。

今回の定例会でも一般質問を行いました。

(詳細は中面参照)

これからも皆さまの声を市政に届けてまいります。

市役所新本庁舎の整備に向け、議会機能が市役所本庁舎7階(議会受付および各会派室等)、8階(本会議場兼特別委員会室および各委員会室等)へ仮移転しました。

駐車場は、仙台市勾当台公園地下駐車場、または仙台市二日町をご利用ください。

来庁確認の手続きを行うことにより、駐車料金が原則90分まで無料となります。

皆さまには当分の間、ご不便をおかけいたしますが、ご容赦ください。

●公明党仙台市議団の新体制

団長	鎌田城行
幹事長	佐藤幸雄
副幹事長	小野寺利裕
副幹事長・政調会長	小田島久美子
幹事・副政調会長	佐藤和子
幹事・会計	佐々木真由美
幹事	竹中栄雄
	嶋中貴志
	鈴木広康

仙台市議会議員 佐々木まゆみ

郡市長に要望書提出(11月22日)



郡市長に国の総合経済対策に盛り込まれた低所得世帯への7万円の迅速な給付の年内執行と、減税や給付が十分に受けられない“はざま”の所得の方々への対策、更には物価高騰から市民生活と事業者を守るための対策を要望しました。

市民のくらしに重要な行政サービスについて 子宮頸がんワクチン接種の積極的取り組みを推進

令和5年第3回定例会 一般質問 令和5年9月22日
決算等審査特別委員会 健康福祉局 令和5年9月28日



令和5年第3回定例会 一般質問 令和5年9月22日

仙台市議選の投票率アップと、日程の見直しについて

【佐々木まゆみ議員】猛暑の真っ只中で行われた今般の仙台市議選。投票率は34.30%で、過去最低となった。国政選挙の春・秋への補選集約を参考に、県議選も含め市としても日程の変更を検討してはどうか。

【市選管事務局長】兵庫県や神戸市等、阪神淡路大震災により、選挙期日が統一地方選挙から外れた県・市では、県議会と各市議会が主体となり、国に任期の短縮を可能とする法改正の要望を行い、互いの選挙期日を合わせたという事例がある。

選挙期日変更の要望は、議員としての任期そのものに関わることであるため、選挙管理委員会事務局が主体的に動くことはできないが、議会側でそのような動きになれば、市選管としても同じ方向で国に働きかけていくことはできるものと考えている。

【佐々木まゆみ議員】認知症や知的障がいなどの理由で成年被後見人となった方も選挙権があることを改めて周知する必要があると考えるがどうか。

【市選管事務局長】仙台市のホームページへの掲載し周知を図っている。今後も周知に努める。

認知症対策について

【佐々木まゆみ議員】認知症の人たちの体験や思いをまとめた「認知症とともに生きる希望宣言」には「一足先に認知症になった私たちからすべてのひとたちへ」として5つの希望宣言が掲げられている。

- 1 『認知症になったらもう終わり』という固定観念を打ち破ろう!
- 2 勇気を出してなんでも挑戦しよう!
- 3 認知症同士の仲間をつくろう!

4 自分の思いや希望をよく聞いてくれ、共に歩んでくれる味方をつくろう!

5 認知症と共に生きている経験や工夫を活かして、暮らしやすいまちをつくろう!

本市としても認知症基本法成立を機に、この希望宣言を広く市民へ周知することも大事と考えるがどうか。

【健康福祉局長】本市では、ご本人の支えにもなるとの考えから、認知症と共に生きるために必要な情報を整理した冊子である「認知症ケアパス」に宣言を掲載し、区役所や地域包括支援センター等で配布している。今後とも、認知症と診断された方等が、前を向って生きることができるよう、希望宣言の効果的な周知に取り組んでいく。

令和5年9月28日決算等審査特別委員会 健康福祉局

成年後見人・市民後見人制度について

【佐々木まゆみ議員】冊子「せんだいふれあいガイド～障害者保健福祉のあんない～」の配布部数と配布方法について伺う。欲しい人の手に届いていないと感じるがどうか。

【障害企画課長】令和4年度の作成部数は11,600部。区役所の窓口において、新たに障害者手帳を取得された方に対しお渡ししている。特別支援学校に対しては、主に新入生向けとして配布している。さらなる周知に努めたい。

【佐々木まゆみ議員】成年後見人制度について。本市における成年後見制度の利用状況と今後の課題はどうか。

【社会課長】令和5年1月時点で1,256名。本人の権利を守り、その人らしい暮らしを支えていくために必要な制度である。潜在的なニーズは増えていると考えられているが、必要な方が必ずしも利用できているわけではない状況にあると思われる。利用促進の取り組みを一層推進していく。

【佐々木まゆみ議員】本市では、市民後見人の養成と支援を行っている。目的と取組み、活用状況はどうか。
【社会課長】利用者からみて親族でも専門職でもない市民の方に成見後見制度に関する知識と技術を身につけていただき、市民目線できめ細かな活動が行える人材を養成している。平成21年以降68名の市民後見人を養成した。これまで受任された方が27名となっており、意欲を持つ市民後見人の方々の活躍の場が必ずしも十分ではない状況にあると考えられる。

【佐々木まゆみ議員】今後、高齢化が加速することから、人権擁護の担い手としてニーズが高まると見込まれている。だからこそ、もっと市民後見人の活用を進めるべきであると考えがどうか。

【社会課長】現在、親族後見人から市民後見人への引継ぎについて、今年度初めて実施される見込みとなっている。市政だよりなど活用し、市民後見人の活用促進に努める。

HPV(ヒトパピローマウイルス・子宮頸がん) ワクチンのキャッチアップ接種について

【佐々木まゆみ議員】子宮頸がん撲滅への取組みと、キャッチアップ接種(接種機会の再提供)個別通知の必要性について。

日本では毎年、約1.1万人の方が子宮頸がんにかかり、約2,900の方が子宮頸がんで亡くなっている。特に25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は子宮頸がんによるもので、若い年齢層で発症する割合が高いがんである。

HPVワクチンは平成22年から国の基金事業を経て、平成25年4月から国の定期接種となったがその後、ワクチン接種後に多様な副反応症状があったとする報告によって、国は同年6月に積極的な勧奨とならないよう留意する旨を通達。これを受け、各自治体は積極的な接種勧奨を控えるようになった。

令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、合わせて積極的勧奨差し控えの影響を受けた世代に対してもキャッチアップ接種が開始された。キャッチアップ接種対象世代にはワクチン接種率が1%未満という学年もあり、将来の子宮頸がん罹患を減らすためには、この機会に接種を進める必要がある。キャッチアップ接種は、時限措置となっている令和7年3月末までに3回接種を完了する必要があり、そのため令和6年9月末までには1回目の接種を開始する必要がある。接種率の伸び悩みの原因は何か。

【感染症対策室長】キャッチアップ接種期間は令和7年3月末までとなっていることから、時間的余裕があると考えている方もいると思われる。国の調査では、接種に関する十分な情報が得られていない、周辺の方がワクチンを接種していないことなどが接種をためらう理由として挙げられている。

子宮頸がんHPVワクチン接種のご案内(重要)

HPVワクチンの接種を逃した方に 接種の機会をご提供します。

対象：平成9年度生まれ～
平成18年度生まれの女性

お問い合わせ・仙台市感染症対策室TEL022-214-8452
厚生労働省

【佐々木まゆみ議員】キャッチアップ接種対象者は、過剰な報道とそれによる政策の決定により、接種最適年齢に接種を勧められなかった被害者でもある。積極的勧奨差し控えの影響を最小限とし、将来の子宮頸がんの増加を食い止めるためにはこの一年間の取組みが大変重要だ。

子宮頸がん経験者らの声からは自身の後悔とともに予防できる手段があることや正しい知識を適正年齢でしっかり知りたかった、知ってほしいという声がある。命やライフプランに大きな影響を及ぼす疾患であり、後悔を防ぐために何度でも周知をする必要がある。

また期限を過ぎ、全額自己負担となると9価ワクチンなら約10万円が自費となる。これは接種の可否を判断する重要な検討材料であり、キャッチアップ期間内に本人と保護者に確実に伝えるべきと考える。今回は対象者にとってラストチャンスであり、本市のキャッチアップ全未接種者への郵送通知をぜひ実施すべきだ。

【感染症対策室長】次年度においても対象者に対し様々な広報媒体を通じて、積極的接種勧奨を実施する。効果的な周知・啓発の方法を引き続き検討していく。

その他「地域猫」「ICT化における子どもへの目の配慮」「障害者の就労支援」について質問した。

佐々木まゆみ
日々の活動



オレンジリボン街頭演説会 (11月11日)



植樹祭に参加 (10月28日)



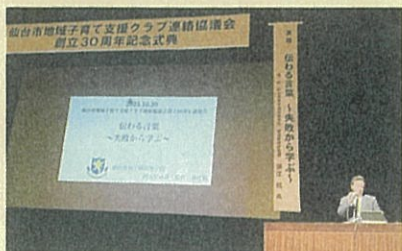
宮城野消防団特別点検 (9月3日) 4年ぶりに開催されました。雨・風・暑さに負けない勇姿に感謝です。



車椅子インフルエンサー中嶋涼子さん特別講演 (9月23日)
心のバリアフリー、更に推進していきます。



幸町納涼祭 (8月6日)
地元の納涼祭に参加し、ご挨拶もさせていただきました。多くの出会いに感謝。ジョッカーのMさん、大人気でした。



子育て支援クラブ連絡協議会 (10月30日)



子育てフェスタ (9月23日)
親子と一緒に楽しく子育てのヒントが学べるイベントです。



幸町市民センターまつり (11月19日)

佐々木まゆみプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野区選挙区)。現在4期目。
【仙台市議会】経済環境委員会委員。文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会委員。

日々の活動はフェイスブックを御覧ください。



Facebook